

令和元年度 地域力強化推進事業の取組状況

地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業の一つで、住民に身近な地域において、地域住民等が主体的に地域生活課題を把握し試みることができる環境の整備と住民に身近な地域において、地域生活課題に関する相談を包括的に受け止める場の整備を図っていく。

1 サポート委託による事業内容

	対象地区	委託先	委託期間
多世代交流拠点設置による地域力強化推進	山下地区	一般社団法人 SHINOMAKI2.0 代表理事松村豪太	R1. 7. 1～R2. 3. 31
	蛇田地区	社会福祉法人こーぶ福祉会 理事長 吉島孝	R1. 7. 1～R2. 3. 31
	湊地区	特定非営利活動法人 ぱんぷきんふれあい会 理事長 渡邊智仁	R1. 7. 1～R2. 3. 31
	牡鹿地区	社会福祉法人旭壽会 理事長 菅野隆	R1. 8. 1～R2. 3. 31
地域課題へのサポート	全 域	一般社団法人日本カーシェアリング協会 代表理事 吉澤武彦	H31. 4. 17～R2. 3. 31

(1) 多世代交流拠点設置による地域力強化推進業務における主な実施状況

① 山下地区


- ・地域生活課題解決に向けた話し合い

地区内のサロン活動団体の情報交換会において、課題を話し合い、振り込め詐欺や移動支援について研修会を開催している。

- ・多世代交流

地区内の会館を会場とする「出張高校生カフェ」を実施した。

山下地区 出張高校生カフェ 企画概要書

<p>事業コンセプト 「地域住民と地域の学生の多世代交流の創出」 ～地域住民と高校生の継続する関係性づくり～</p> <p>一般社団法人SHINOMAKI2.0では、石巻市包括ケア推進室と協働の「地域力強化推進事業」として種々の側面から山下地区のサポートを行っています。 今年度山下地区で地域の会館の活用と活性及び多世代交流を目的としたイベントを開催することとなりました。山下地区に拠点を置きながら、地域と高校生を繋げ社会学習の場作りをしている「かざっくPROJECT」と協働し、高校生主軸による高校生カフェを開催いたします。学生と地域住民双方の交流、学生の企画力や計画性の向上と社会的な経験を育む場として活用していただければと考えております。</p>	<p>山下地区の説明</p> <p>山下地区協働のまちづくり協議会や町内会について</p> <p>山下地区は石巻市に位置し、市中心部に隣接するダウンタウンです。16町内会が構成されており、新しい協働のまちづくりとして「地域自治システム」（自分達でできることを行う、防犯や子育てなど広範囲に渡り、行政と連携して一緒に考えていく）という概念で活動中。 地域で見える関係の構築から始め、若手を巻き込みながら常に新しいまちづくりを目指しています。 各町内会ではサロン活動や夏祭りなども行われており、住民同士の交流も盛んです。</p>
<p>【進行イメージ】 開催期間：2019年11月～2020年2月までの間 全2回実施 実施時間：13：00～15：00頃予定 対象住民：山下16町内の住民 会 場：山下会館（石巻市西山町6-27） ※実施にあたり、準備のため高校生を交えての理事会の企画ミーティングを実施する。なお、開催に必要な物品や食料、当日の会場費などはすべてSHINOMAKI2.0が支払いをいたします。高校生の皆様には企画協力、当日のスタッフとしてご協力いただきたく存じます。</p>	
<p>高校生カフェとは？</p> <p>かざっくPROJECTが実施している高校生によるカフェ運営プロジェクト。深層体験として就業体験を確むと同時に、学校では体験できない学びの場として、石巻の未来を担う人材の育成を目的に高校生主体でカフェづくり、運営を行っています。 地域に根付く、地元とのつながりを進めさせるための取り組みです。</p>	


② 蛇田地区

- ・地域生活課題に向けた話し合い


委託先の施設を利用し、毎月2回交流会を開催している。

- ・多世代交流


地区の大人が講師となって、地域の小学生の習字教室・宿題教室を開催した。

こ〜ぶのお家で
サロン活動しています！
「地域交流サロン」
えがお 


おしゃべりをしたり、身体を動かしたり
情報交換をしたり、ひと休みしたり。
年齢を問わず、地域にお住いの皆さんが集まれる
場所として活用しています。




【日時】 11月12日（火）
11月26日（火）
午前は10時から、午後は1時半から
午後はカラオケ教室など行なってます
【場所】 こ〜ぶのお家いしのまき
お問い合わせ先
こ〜ぶのお家いしのまき
電話 0225-92-6728



こ〜ぶのお家で冬休みの
習字教室・宿題教室を開きます

「習字」毛筆・硬筆
「冬休みの宿題」 

【日時】 12月27日（金）
1月7日（火）
午前は10時から12時
午後は1時から3時
【場所】 こ〜ぶのお家いしのまき
向陽町の小学生が対象（子供だけの参加可）
※習字道具は各自で持ってきてください
用紙はこちらで準備します
当日ボランティアで
一緒に参加できる方も
募集しています！
お問い合わせ先
こ〜ぶのお家いしのまき
電話 0225-92-6728



③ 湊地区

- ・相互交流

鹿妻地区の県営、市営住宅を拠点として、誰でも気軽に集まれる場所をつくり、毎月第2、4火曜日で地域交流を図っている。

- ・多世代交流

鹿妻地区の住民を対象開催、子どもからお年寄りまで楽しめるパフォーマンスで、多世代の交流のきっかけの場として「顔の見える関係づくり」を行っている。

令和元年度石巻市湊地区地域力強化推進事業
クラウンパフォーマンス
地域で学ぶ楽しむ伝える
日時：8月14日（水）15時開演
場所：鹿妻地区集会所

クラウンが贈る夏のスペシャルショー！！
「クラウン」が鹿妻地区に上陸。全日本各地の劇団に招聘して子供達の笑顔を引き出しているクラウン達がステージで大披露します。大人も子どもも、観客としてどきどき興奮の舞台です。ワークショップあり、プレゼントタイムありの盛りだくさんな楽しいショータイム！
ばんばんきんふれあい会では鹿妻地区住民の皆様の「顔の見える関係」の構築を目的とした住民主体型コミュニティ形成事業を要めております。
ぜひこの機会に関係の充実にきっかけの場として「クラウンパフォーマンス」に是非お越し下さい。

主催 NPO法人 日本ホスピタル・クラウン協会
NPO法人 ばんばんきんふれあい会
後援 石巻市社会福祉協議会
お問い合わせ NPO法人 ばんばんきんふれあい会
石巻市宮野町一丁目5-10 ゼンザコーナ
会 080-5749-5500（担当 菅野）

令和元年度石巻市湊地区地域力強化推進事業
地域で交わろう『ふまねっと教室』

NPO法人ばんばんきんふれあい会では、鹿妻地区福祉協議会の委託を受け鹿妻地区の多世代交流や体力向上の促進を行います。
地域の皆さんと一緒に笑顔に集まれる場所を作りながら、地域の交流を促進していきたいと考えております！一緒に所を創出して、お集まりの場を創出しましょう。

場所 鹿妻県営・市営住宅集会所
時間 10月29日（火）10時～12時

※今週、毎月第2、4火曜日で開催予定です！
皆さんの参加をお待ちしております！お友達を誘ってぜひ一度体験してください。

『ふまねっと』って？
床に50センチ四方のあみを置いてふまないように歩く、床に優しい運動です。

こんな効果があります！
1. 歩行機能の改善効果 2. 認知機能の改善効果
3. 地域コミュニティの形成 4. 高齢者の社会参加

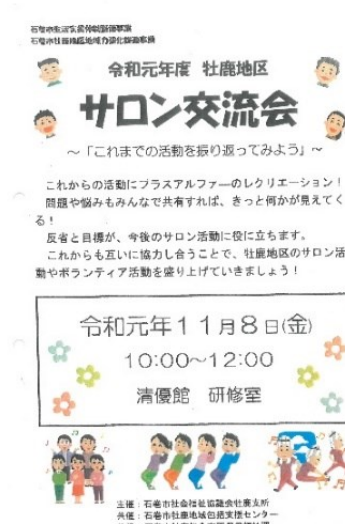
初めてでも安心！ 簡単な床にやさしい運動です！
失敗も気にしない！ 失敗すればするほど会場が盛り上がりします！
会費が実額でいっぱい！ 初めての会った方も盛り上がりれます！

主催・お問い合わせ NPO法人 ばんばんきんふれあい会
会 080-5749-5500（担当 菅野）
協力 石巻市社会福祉協議会

④ 牡鹿地区

・相互交流

牡鹿地区の清優館を拠点として、趣味や健康づくりを通じて「顔の見える関係づくり」を形成し、お互いに支えあえる地域づくりを行っている。



(2) 地域課題へのサポート (コミュニティ・カーシェアリング)

① 目的 高齢者等の移動手段の確保等に関する課題解決の試みとなる地域におけるコミュニティ・カーシェアリング活動への支援

② 実績 山下地区 (山下南カーシェア会)

ア 設立日 令和元年7月16日

イ 設立時会員数 24名

ウ 稼動総数 125回

エ 現在会員数 70名



2 地域互助活動促進事業助成金

高齢者、障害者、子ども、生活困窮者等を対象として、市民主体の団体が身近な地域において行う日像生活上の助け合いの活動に対し助成金を交付する。

申請状況（令和元年12月末日現在）

交付決定 10団体 交付決定額 1,500,000円

3 地域の支え合いを考える大会

(1) 日 時：令和元年11月17日（日）午後1時30分～午後4時

(2) 会 場：石巻専修大学 5号館 5301教室

(3) 主 催：石巻市地域包括ケア推進協議会、石巻市

(4) 参加者：184名（募集定員：300名）

(5) 内 容

① 基調講演：「ごちゃまぜ共生社会への処方箋」

講師：東北大学大学院歯学研究科 教授 小坂 健 氏

要旨：医学的、学術的視点から、介護予防、身体機能の維持及び社会的健康について説明をいただいた。地域、社会との結びつきによって健康の増進が図られ、死亡率が下がり、要介護状態の発生リスクが下がること等から、若いも若きも障害や疾病を抱えても、お互い様で支える、地域住民のつながりの大切さをお話しいただいた。



（講師の小坂氏）



（会場内の様子）

② パネルディスカッション：「地域の交流活動と支え合い」

コーディネーター：小坂 健 氏

パネリスト：日和会 会長 櫻田 誠子 氏

日和会 福祉協力員 久野 道子 氏

谷地中地区会 会長 佐藤 八郎 氏

発表補助：石巻市社会福祉協議会地域福祉コーディネーター
兼生活支援コーディネーター

谷 祐輔 氏

及川 里美 氏

要旨：平成29年度第1回「地域の支え合いを考える大会」で、各地域の現状から地域課題を出し合い、解決に向けた取組についてグループワークをした中で、その後の検討内容や実際の活動状況、実践してみたの感想及び今後の取組予定等について発表していただいた。

どちらの地域からも、声かけ等による日常的な近所付き合い、顔の見える関係づくりが、地域の課題解決や活動の継続には大切であるというお話があった。



(日和会櫻田氏、久野氏、社協谷氏)



(谷地中地区会佐藤氏、社協及川氏)

③ まとめ

要旨：参加者から、活動を継続するための取組について質問があり、日和会では訪問活動の際、不在住宅には手紙を入れるなどの足跡を残すことで、次につながる要因を作っているという説明があったほか、会場から、楽しんで活動することや無理をしないことが継続の秘訣ではないかという意見があった。

また、小坂氏から、地域活動に男性の参加を促す工夫について質問があり、パネリストからは、行事を実施する際には趣旨を徹底する、参加者が主役になる、有意義だと感じる内容にする、そこに行く目的、役割がしっかりしていること等が男性の積極的な参加につながるのではないかという意見があった。



(会場からの質問、意見)